

Think Legally, For Human Dignity

Faculty of Law  
**Guide 法学部**  
**2025**

東北学院大学法学部

# 4年間で学ぶこと

東北学院大学法学部の理念・目的は、「法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する」ことです。

## 「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」 “Think legally, for human dignity”

この理念に基づき、法学部では「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」を策定しています。

法学部は、所定の履修細則に従って卒業所要単位124を修得し、次の学習成果が確認できた者に「学士(法学)」の学位を授与します。そこで求められる学習成果の概要は、以下のとおりです。

- A 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。
- B 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。
- C 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。
- D ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる 認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。
- E 法学部においては、次の学修成果を示すことができる。
  - (1) 法の支配及び法治主義を理解し、立法・司法・行政とそれぞれに携わる重要機関の役割を説明することができる。
  - (2) 主要な法分野における基本的な価値や法原理を理解し、それらを身近な問題解決に応用することができる。
  - (3) 日本の主要な実定法を体系的に理解し、それらの基礎的な内容を説明することができる。
  - (4) 一般的な法的問題について、法的判断に必要な情報を集め、それらを整理して要点を説明することができる。
  - (5) 法を解釈し適用する際の法的論理を理解し、具体的事実を法に適用して法的結論を導き出すことができる。
  - (6) 新しい社会問題について、法的対応の現状を説明し、あるいは別の新たな法的対応を提案することができる。

## カリキュラム

1年	2年	3年	4年
<b>専門導入科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーガル・リサーチ</li> <li>法学の基礎</li> <li>政治学の基礎</li> </ul>	<b>専門基礎科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>憲法Ⅲ・Ⅳ</li> <li>行政法総論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>民法総則Ⅱ</li> <li>物権法Ⅰ</li> <li>債権法各論Ⅰ</li> <li>家族法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>会社法Ⅰ</li> <li>民事手続法入門</li> <li>刑法総論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>国際法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>経済原論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>国際経済論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>など</li> </ul>	<b>政策行政コース</b> <b>企業法務コース</b> <b>法律専門職コース</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>租税法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>行政法各論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>物権法Ⅱ</li> <li>債権法総論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>債権法各論Ⅱ</li> <li>会社法Ⅱ・Ⅲ</li> <li>商法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</li> <li>金融法</li> <li>民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>民事執行法・保全法</li> <li>倒産法</li> <li>労働法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>知的財産法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>刑法各論Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>
<b>専門科目</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>憲法Ⅰ</li> <li>憲法Ⅱ</li> <li>民法入門</li> <li>民法総則Ⅰ</li> <li>法曹養成実習Ⅰ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>刑事政策</li> <li>法哲学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>法思想史</li> <li>西洋法制史Ⅰ・Ⅱ</li> <li>日本法と外国法</li> <li>国際法Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ</li> <li>国際私法</li> <li>政治学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>国際政治論</li> <li>地方自治論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>行政学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>財政学Ⅰ・Ⅱ</li> <li>社会保障論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>など</li> </ul>

基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	演習一部
<b>教職課程</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育基礎論</li> <li>教育の制度と経営</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程論</li> <li>社会・公民科教育法Ⅰ(概論・理論)など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会・公民科教育法Ⅱ(実践)</li> <li>社会・公民科教育法(応用)など</li> <li>教育実践演習など</li> </ul>

学士(法学)

演習一部(卒業研究・論文)

## 公務員をめざす

**政策・行政コース**

私は、高校生の時に成立した少年法の改正をきっかけに、少年非行や法律に興味を持ちました。そして、警察職員という立場から子どもを被害者にも加害者にもさせないよう力になれる存在になりたいと思い、法学部に入学することを決めました。

大学は時間が沢山ありますが、自ら新しい環境に挑戦したり、課題を設定しなければ、成長する機会を得ることができません。1・2年生では法学検定に合格することや特待生・優等生を目指すなど目標を立てて、勉強に対するモチベーションを維持することが大切です。3年生からは本格的に公務員試験に向けた勉強がスタートします。法学部では、「コース総合演習」、「TKC公務員試験学習ツール」、「フォローアップ講座」、「公務員試験座談会」、「公務員就職説明会」など様々な講座があり、これらを有効活用して勉強しています。

大学には、挑戦したいことを実現させる為に手を貸してくれる人は沢山います。自分だけの経験を積み重ね、試験を受ける上で自信に繋げてほしいです。

吉村 明莉 さん

Timetable

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1				物権法	
2	刑法各論			演習一部	
3	行政法総論		債権総論	知的財産法	
4					
5	労働法		刑事訴訟法		家族法

## 民間企業をめざす

**企業法務コース**

私はインフラ、メーカー、金融、電力業界を中心に就職活動を行っています。多くの企業では選考の際に「志望動機」、「将来ビジョン」、「企業選びの軸」、「学生時代に力を入れたこと」が求められます。書類選考や面接ではこれまでに取り組んできた経験、自分自身が将来どんな姿になりたいのかを具体的に言語化し、自分の言葉で企業の採用担当の方に伝えることを心がけています。就職活動の期間は非常に長く、挫けそうになることもあります。そんな時は友人と遊ぶことや趣味に没頭するなど一旦就職活動のことを忘れてリフレッシュすることも大切です。

私は講義やゼミのほかに体育会準硬式野球部に所属しています。部活動では学年、学部学科関係なく活動しています。東北学院大学は部活動、サークル活動、アルバイト活動など課外活動も盛んです。さらに、東北学院大学の周辺には沢山の美味しいご飯屋さんがあります。その中でも私はラーメン屋の「自家製麺結び」が大好きです。

講義だけではなく、課外活動や友人との交流も充実させることでよりよい大学生活を送ることができます。

海藤 暖人 さん

Timetable

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	商法				
2	刑法各論	政治学		演習一部	会社法
3		国際法			コース総合演習
4	倒産法				
5	労働法				

## 法曹をめざす

**法律専門職コース**

入学当初の私は、法曹を目指すことを考えてもいませんでしたが、法律系資格試験に挑戦したことをきっかけに、法律家として生きることへの憧れを抱くようになりました。

法学は学説や判例が多数積み重なった複雑な学問です。そのため、高校で学んできた学問とは異なる感覚を抱くことになると思います。しかし、最初はとっつきにくくても、先に進めてみるのが大切です。法学は相互関連的な学問であるため、全体像を理解してから初めて気づくことがたくさんあります。

また、法律を学ぶ際に大切なことは、なぜその条文が存在するのかを意識することです。条文を形式的に覚えるだけでは、複雑な事案に対応することができず、紋切り型の思考に陥ってしまいます。

上記のように、法学は奥深い学問です。ゆえに、最初は多くの疑問や課題に直面することになると思います。それでも、学ぶにつれて生活の一部に法的な思考が加わり、多角的な考え方が身につくことを実感できるため、根気強く学習することが大切です。

遠藤 駿斗 さん

Timetable

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					キリスト教
2	刑法各論		民事訴訟法	物権法	会社法
3	行政法総論		債権法総論	演習一部	
4		クリティカルシンキング			
5		法曹養成実習	刑事訴訟法		家族法

**政策・行政コース**  
Policy Administration Course

国家公務員・地方公務員、警察官・消防官、裁判所事務官(総合職・一般職)などをめざす履修モデルです。



**企業法務コース**  
Corporate Legal Affairs Course

金融業界、不動産・建設業界など、将来、民間企業への就職をめざしたり、職種に関係なく経済社会と法の関係を学ぶ履修モデルです。



**法律専門職コース**  
Legal Profession Course

弁護士・裁判官といった法曹(そのための法科大学院進学)や行政書士・税理士・国税専門官などの法的知識を専門とした職業をめざす履修モデルです。



# 1年生のための導入科目・専門科目

## 「法学」「政治学」のスタートライン

大学入学後、初めて触れることになる「法学」や「政治学」。4年間をかけて学びを深めていくためには、それらの基礎を修得することが重要です。

### 1年生の導入科目

#### リーガル・リサーチ

この講義は、グループ単位で受講する“法学事始め”。法学部生となった皆さんが、法学を学修する上で必要となる「武器」を身につけることを目的としています。とにかく法律を「使える」ようにすることを目標として、条文の読み方や判例の読み方、資料の調べ方などを修得します。また、多くの学生が悩む「法律答案の書き方」については、実践を踏まえ、確実に身につけましょう。法学学修の秘訣は“自学自習”！一人一人が4年間を通じて自立して法学学修を進められるよう、個人の習熟を重視します。



### 1年生の専門科目

#### 憲法Ⅰ・Ⅱ

憲法Ⅰでは、憲法とは何か、日本の憲法史、国民主権・権力分立・平和主義などの基本原理、憲法改正や違憲審査制をはじめとする憲法保障の仕組みなど、日本国憲法の総論・基本原理を学びます。毎回の講義では、教科書とレジュームを用いて、歴史的な展開や裁判例などの具体例を紹介しながら丁寧に説明します。理解を深めるためのいろいろな資料を講義中に紹介しますので、自分から調べる習慣をつけてください。

また憲法Ⅱでは、日本国憲法が定める国会・内閣・裁判所などの組織の仕組みや権限、相互の関係について説明します。言い換えれば、政治の仕組みを学ぶことであり、皆さんが実際の政治を考える上で必要な基本的知識をその内容としています。普段からニュースに触れて、実際の国会や内閣、裁判所の動きにぜひ関心を持つようになしてください。講義で学ぶ内容が生き生きとした意味を持ち、より興味を持つことができるようになるでしょう。



#### 法学の基礎

法学には様々な分野がありますので、この科目では、法学部の4年間で学ぶ法学全体を概観します。高校の学びから大学の学びへと円滑に接続できるようにするために、高校の『公共』、『現代社会』、『政治経済』、『日本史B』および『経済活動と法』の教科書に書かれている内容をもとに、法学の基礎的な知識・考え方を説明します。この科目で説明する内容は、4年間の法学学修の基礎となる知識・考え方ですので、確実に理解して下さい。

#### 政治学の基礎

日本及び世界の政治現象を学ぶための基礎知識を得ることを目的としています。前半では、日本の法システムとも密接に関係する戦後政治の構造を、対外関係をも考慮に入れながら、歴史的観点から概説します。後半では、日本政治に特有の現象、歴史的現象に大きな影響を与えてきた仕組み及び制度、日本政治と密接に関係する国際政治・比較政治に関するテーマについて、分かりやすく解説します。具体的な事件や人物を紹介することにも努め、政治に興味のある人だけでなく、興味のない人にとっても、面白い授業になるよう工夫するつもりです。3年次から政策・行政コースを選択しようと考えている人はもちろん、他のコースを選ぼうと考えている人も、ぜひ履修してみてください。



#### 民法入門

「法学の女王」と呼ばれている「民法」。『市民・市民社会の法』だから「民法」。人の一生に関わる「民法」。ということで、民法は私たちが普通に生活をしている場面に関わる法律です。そのため、条文がたくさんあります。これをいくつかに分けて3年間にわたって勉強することになります。民法が分かると法律の面白さに気がつき、実社会に出てから必要な知識、例えば部屋を借りるとか、消費者問題とか交通事故、あるいは相続といった問題についてもわかるようになります。この講義ではそのような民法の道案内として、ざっと一通り見渡し、長い勉強の橋渡しをします。

#### 民法総則Ⅰ

この科目では、「民法入門」で学んだ事柄のうち、「人」「物」「法律行為」という法律用語の意味内容や、契約のしくみなどについて、さらに詳しく学びます。民法だけでなく、法学全般の学修に役立つ知識の基礎固めを行うこととなります。「難しそう」と思うかもしれませんが、そういうときは、身近な具体例に置き換えて考えてみましょう。そのうち納得できるはず。それでも分からなければ、ぜひ教員に質問してみてください。

# 特徴的な学び・ゼミ



## 民事手続法の最新判例をテーマに、全国の学生と共に議論を楽しむ

玉井 裕貴 准教授  
倒産法

私の専門は「倒産法」という分野ですが、ゼミではそれに限らず、広い意味での民事手続法(民事訴訟法、民事執行法、民事保全法、倒産法など)をテーマに取り上げています。ゼミでは、最新判例に関する研究報告に加え、その判例について賛成・反対双方の立場から検討することにより、民事手続法の考え方や、背後に控える理論などの理解を進めます。

そして、ゼミの一大イベントは「全国合同民事訴訟法ゼミナール」への出場です。ゼミでの検討内容を洗練させて、3・4年生が合同で複数のチームを組み、全国津々浦々の民事手続法ゼミに所属する学生との研究報告と、ディスカッションに臨みます。学内の先輩・後輩だけでなく、全国の同世代の学生や、他大学の教員との交流を楽しみながら、学びを深めています。

大学生では、いわゆる「全国大会」に挑戦する機会ほとんどありません。ただ、やはり大会を目標にメンバー全員で課題に取り組む経験は、ゼミ生を大きく成長させています。大会に参加する機会を得て以来、学生主催で、合宿やその他のイベントも積極的に開催されており、充実したゼミが実現できています。



## 法の歴史を通して、人間を見つめる

塚原 義央 准教授  
西洋法制史

法制史を専攻するゼミです。法学といえば憲法をはじめとした法律を学ぶというイメージが強いかもしれませんが、基礎法と呼ばれる科目もあり、法制史はその一つです。法を歴史的に探究することでより深く法を知っていくことができます。私は西洋法の歴史、特に古代ローマ帝国のローマ法を専門としています。

演習一部(3年生)では法制史の教科書を使いながら、基本的な事項を学んでいきます。特に史料と呼ばれる昔の人たちが残した文書記録は、法制史の勉強を進めるうえで重要です。基本的な史料を読みながらそれを研究して発表、議論するという一連の流れを繰り返します。演習二部(4年生)では、卒業研究を1年かけて作り上げます。3年生までに学習した法制史の事項の中から興味ある事柄を自分で選び、それについて調べていきます。定期的に研究の進捗状況を報告しながら、意見交換をします。就職活動で大変な時期ですがゼミでは友人と交流し、情報交換もできます。一息つきながら関心のある研究に没頭することは、知的で楽しい時間です。

本ゼミの目標は、法制史を題材にしながらかつ先人たちの生き方に学びつつ、人生をより豊かなものにする。過去の世界で起こった事件を見てみると、現代の私たちが同じような問題に直面していることに気付くでしょう。法の歴史を学ぶことで、そのような問題にどう対峙していくかを学んでいきたいと思っています。

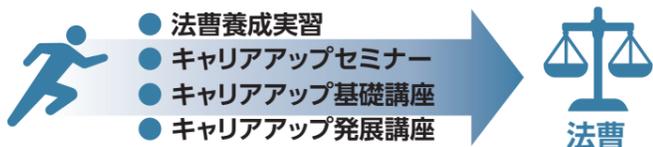


# キャリアアップ

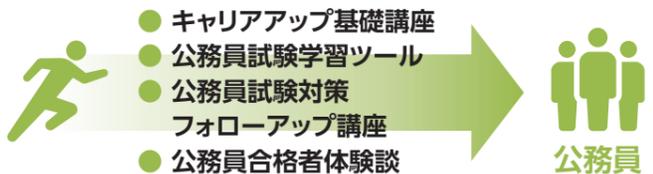
## キャリアアップ支援プログラム

法学部では、法曹・公務員・法律専門職に就きたいと考える学生に対して、正課講義でのサポートはもちろん、自学自習を支援するために「キャリアアップ支援制度」を用意しています。また、これらの講義や講座の提供に関連して「キャリアアップ奨学金」も用意しています。これを通じて、経済的にも学生の皆さんを支援します。キャリアアップ支援制度をフル活用して、ぜひ、希望を叶えてください。法学部は、皆さんの夢の実現を全力でサポートします。

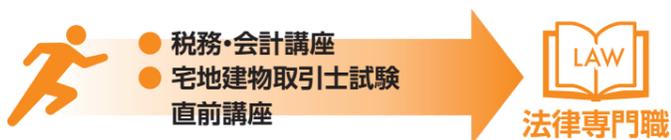
## 法曹(弁護士・検察官・裁判官)をめざす



## 公務員をめざす



## 法律専門職をめざす



## 資格取得をめざす

法学部では、各種講座の提供に加えて、様々な「資格」の取得を支援するために、本学出身者による講演会などのセミナーやワークショップを開催しています。これらに参加することで、その資格や職業をめざす上で有益なアドバイスを得ることができます。この機会を存分に活用して、難関資格にもぜひチャレンジしましょう。

### 課外講座開講(予定)の資格

- 行政書士**  
法律文書作成の専門家です。主要試験科目が法学部の講義科目なので、ぜひ在学中合格を目指しましょう。
- 宅地建物取引士**  
不動産取引業に必須の資格ですが、建築業や金融業への就職にも有利です。
- 弁護士**  
誰もが知る法律の専門家です。法学部の講義科目は法科大学院や司法試験とも密接に関連しています。
- 司法書士**  
登記や裁判所に提出する書類作成の専門家です。難関ですが高齢化の進む中、一層の活躍が期待されています。
- 税理士**  
税に関する専門家です。大学院に進む人が多いですが、大学在学中に簿記の資格を取って備える人もいます。

## 在学中に資格取得を! ~資格取得報奨制度~

東北学院大学には、在学中の国家資格取得者へ資格取得報奨金や図書カードを給付する制度があります。例えば司法書士は15万円、行政書士や社会保険労務士は7万円、宅地建物取引士は3万円の報奨金の対象です。在学中に合格して、ぜひ報奨金を得てください。対象となる資格や手続きについては、東北学院大学のサイト(下記)に情報がありません。

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/shikaku/bonus.html>

## 進学・資格取得・勉学のインフォメーションセンター 法学部キャリアアップ支援室

法科大学院試験や公務員試験、資格試験の合格のためには自学自習が欠かせません。しかし、これらを目指す上での情報収集や、共に勉強する仲間存在もまた欠かせません。法学部のキャリアアップ支援室は、学生が自習したり、友人と議論するための部屋として活用されています。時には教員も訪問し学生の学習をサポートしています。法科大学院進学や法律系資格の取得、公務員試験の合格を応援するために、最新の法律書や問題集を多数取りそろえており、法律に特化した「ミニ図書館」としての役割も果たしています。学生はこれらの書籍を自由に手取り、勉強に励むことができます。キャリアアップ支援室利用者からは、数多くの法科大学院合格者・難関公務員合格者を輩出しており、学習の拠点として重要な場となっています。なお、キャリアアップ支援室は学生スタッフが運営しており、居心地の良い空間となっています。キャリアアップ支援室の「使いやすさ」の一要因です。



## 志を同じくする学生が集う勉強のサークル

**サークル 萩鳳会(しゅうほうかい)** X(旧Twitter)アカウント @shu\_ho\_kai  
メールアドレス 311syu@gmail.com

みなさん、初めまして。東北学院大学萩鳳会です。今回は、本学唯一の法学系サークルである萩鳳会について紹介させていただきます。萩鳳会には、一緒に勉強できる仲間を見つけたい、法律についてもっと深く学びたい、という動機で入る人が多いです。萩鳳会のおすすめポイントは、就職活動をしている、またはし終わった先輩からアドバイスがもらえるということです。活動の内外で先輩から後輩に対して様々なアドバイスがなされている様子が見られます。また、定例の活動がそこまで多いわけではないため、他のサークルやアルバイトとの両立がしやすいという利点もあります。萩鳳会のメインの活動は学生同士での勉強会です。空きコマや進路希望を基に、いくつかのグループに分かれて活動しています。その内容は、講義形式、過去問演習形式など、さまざまな形式があります。入学後、ぜひ萩鳳会で共に学びを深めていきましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

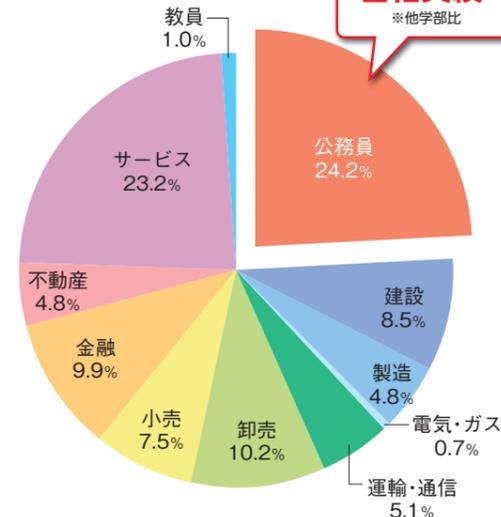


TG  
LAW  
LIFE  
We Are The Future

# 卒業生の進路

就職率  
**94.8%**

法学部の学生の就職先は、サービス・金融・小売のほか、国税専門官、公務員・教員と多岐にわたり、毎年安定した就職率になっています。



圧倒的  
合格実績!  
※他学部比

## 地域別就職状況



※就職率は、就職希望者に占める就職者の割合です。地域区分は本社所在地による。

## 過去3年間の主な就職先

### 公務員

国家公務員(一般職)、国税専門官、刑務官、自衛官、裁判所事務官、財務専門官、地方公務員(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県 東京都特別区、その他市町村)、警察官、仙台市消防局、秋田市消防本部、福島市消防局、東京消防庁、教員(小学校・中学校)

### 民間企業

【建設業】三機工業、セキスイハイム東北、積水ハウス、仙建工業、大和ハウス工業、東北ミサワホーム、前田道路、ユアテック【製造業】アイリスオーヤマ、秋田魁新報社、岩手日報社、廣済堂、タカラスタンダード、凸版印刷、福島民報社【電気・ガス・熱供給・水道業】東京ガス、東北電力【運輸・通信業】近畿日本ツーリスト、日本郵便、東日本電信電話、東日本旅客鉄道、北海道旅客鉄道、ヤマト運輸【卸売業】カメイ、高速、パイタルネット、ホシザキ東北、三菱電機住環境システムズ、山形ゼロックス、リコージャパン【小売業】JR東日本東北総合サービス、兼松コミュニケーションズ、セブン-イレブン・ジャパン、ニトリ、宮城トヨタ自動車、ヨドバシカメラ、利久【金融業】あいおいニッセイ同和損害保険、青森銀行、かんぼ生命保険、北日本銀行、七十七銀行、荘内銀行、全国共済農業協同組合連合会、仙台銀行、損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険、東邦銀行、東北労働金庫、日本政策金融公庫、農林中央金庫、福島銀行、三井住友海上火災保険、宮城県信用保証協会、宮城第一信用金庫、社都信用金庫、山形銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行【不動産業】エイブル、住友不動産販売、タカラレーベン東北、東急リパブル、三井不動産リアルティ東北、三菱UFJ不動産販売【サービス業】NTT東日本-東北、各法律事務所、国立病院機構、全国健康保険協会、東北税理士会、日本年金機構、宮城県医師会、宮城県国民健康保険団体連合会、宮城県商工会連合会、労働者健康安全機構

## Message

### 公務員 合格 佐々木 皓太 さん 仙台市消防局

私は中学生の頃から公安職を志望していたため、公務員の就職率が高い東北学院大学の法学部を選びました。公務員を目指す方は、法律学・政治学の試験科目が複数課されることがあります。法学部では、公務員試験に直結する科目もそうでない科目もさまざまに学ぶことができるので、興味関心のある講義に積極的に参加し、継続的に学習に取り組むことが合格の近道だと思います。4年間の大学生活は自由な時間が多いように思いますが忙しいものになります。その中でも、サークルやボランティア、アルバイトなど自分が自信を持って取り組める活動に熱中して欲しいです。そこでの経験は就職活動で生きるだけでなく、その先の仕事で確実にプラスに働くことだと思います。みなさんの大学生活が活気に満ち溢れ、充実した4年間になることを心よりお祈りいたします。



## Message

### 民間企業 内定 佐藤 愛華 さん 荘内銀行

私は大学卒業後の進路に迷っていたため、民間企業、公務員共に知識を活かすことができそうな法学部を選びました。講義やゼミ、課外活動などを通じて自己理解を進め、3年の夏から就職活動を民間企業に絞って開始しました。最初は業界を絞らずに合同企業説明会で多くの企業の情報収集をしていました。その中で、対面のイベントでは企業の方からよりリアルな職場の雰囲気や業務内容などを聞くことができ、企業分析する上でとても参考になりました。もし、興味のある業界や企業のイベントがあったらぜひ積極的に参加してみてください。就職活動期間を振り返ると、私の就職活動は学生時代の経験から強く影響を受けていたと感じます。具体的には、接客のアルバイトや学生会活動などの経験を通じて自分の能力のスキルアップや、内定先を志望するに至った要因など、多くのものを得ることができました。大学時代に得た知識・経験は今後の財産となりますので、ぜひ新しい環境や出会いを楽しみ、有意義な大学生活にしてください。



## Message

### 法科大学院 先輩 栗野 夏希 さん 東北大学法科大学院

大学卒業後の進路の1つとして、法科大学院への進学があります。法科大学院とは、法曹(弁護士・裁判官・検察官)を目指すための大学院です。法科大学院に合格するため、そして司法試験に合格するための勉強は、法学部での学習の延長線上にあります。東北学院大学法学部では、1年次の導入科目で、法律を学ぶ上での基礎的な知識・考え方を身に付けることができ、主に2年次以降に行われる専門科目で、法曹を目指すために必要な学びを丁寧に深めていくことができます。私自身、入学時は違う進路を希望していましたが、ゼミ内の友人とディベートをしたり、共同して課題を解決したりなどを行っているうちに、法科大学院への進学を志すようになりました。東北学院大学法学部には、入学時から法科大学院への進学を志している方はもちろん、私のように大学生活を送るなかで法科大学院への進学を志すようになった方にとっても、法科大学院への合格を目指すための学習環境が整備されています。皆さんも法学部での学習の延長として法曹を目指してみませんか。





#### 交通アクセス

#### 土樋キャンパス

- 仙台駅前より長町方面バスにて「五橋駅」下車 徒歩約5分
- 仙台駅より地下鉄南北線富沢駅行にて「五橋駅」下車 徒歩約5分

#### 五橋キャンパス

- 仙台駅前より徒歩約15分
- 仙台駅前より長町方面バスにて「五橋駅」下車 徒歩約1分
- 仙台駅より地下鉄南北線富沢駅行にて「五橋駅」下車 直結

＼ 法学部での活動を覗いてみませんか？ ／

## 『Jura ~法学部の日常~』

こちらからアクセス!

「東北学院大学」HP → 「法学部」 → 「Jura ~法学部の日常~」  
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law>

随時  
更新中



東北学院大学 | 法学部  
Faculty of Law

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1